

十二使徒の選び

マタイによる福音書一〇章一―一五節

イエスは十二人の弟子を呼び寄せ、汚れた霊に対する権能をお授けになった。(一)

主イエスは多くの弟子たちの中から特別に十二人を選ばれました。後に「使徒」と呼ばれるようになった弟子たちです。「使徒」とは、特別な任務のために権能を授けられ、その人の代理として派遣された者のことです。その中にはいろいろな経歴や性格の者たちが含まれています。ペトロを始めとするガリラヤの漁師たち、懷疑家トマス、ローマの手先として売国奴と蔑まれていた徴税人マタイ、熱狂的な愛国主義者シモン、そして最後にはイエスを裏切ることになるユダ。決してエリートたちの集団ではありません。しかしそれで良かったのです。使徒にとって重要なのは、その人がどれだけ優れているかではなく、派遣された方がどうかということだからです。主イエスは私たちをも選び出し、それぞれの場所に使徒として遣わしていただくのです。何と光栄なことでしょう。